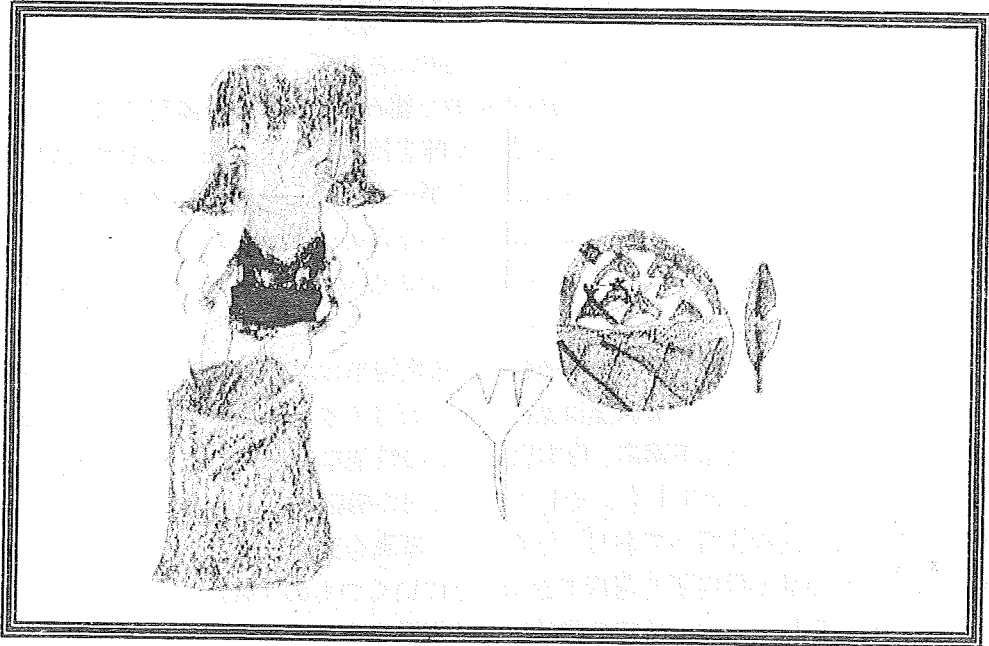


SSTK No.187

# じゃなかしゃば



## 目次

- ・ノーマライゼーション学校支援事業第3回研修報告...2
- ・11月1日フォーラムにおいてください...3
- ・〈ひなたぼっこ〉イベント&活動報告...4
- ・〈ひなたぼっこ〉店長便り-⑦...5
- ・高校初任者研修感想...6、7
- ・告知板...8

※誌名「じゃなかしゃば」は九州水俣地方の方言で「今のようでない世の中」という意味。

私たちは障害のある人もない人も共に生きる社会を目指して活動しています。

【編集】 NPO法人ちばMDエコネット／代表 山田晴子

〒273-0005 船橋市本町4-31-23 TEL/FAX 047-426-8825

ちばMDエコネットのEメールアドレスとホームページアドレスが変更になりました。

Eメール:sun@mdeconet.jp

ホームページ:http://mdeconet.jp/

郵便振替口座: 00150-6-404243

口座名;NPO法人ちばMDエコネット

## ノーマライゼーション学校支援事業第3回研修ご報告

山本 佳美

9月27日に行った第3回研修は、「障害のある子や発達につまずきのある子が在籍している学校内での支援体制づくりの実践に学ぶ」ということが大きなテーマでした。小学校、中学校の教職員の方からの申し込みが非常に多く、ニーズの高さを実感しました！

研修Aでは、船橋市立薬円台小学校教諭の上野基江先生からお話をいただきました。特別支援学級が新設された小学校で、上野先生が教職員に行った研修や児童対象にクラス単位で行った特別支援学級の説明など、具体的なお話をして下さいました。通常学級の担任の先生は障害のある子への対応に戸惑うことも多いので、学級での接し方や学習の方法を丁寧に伝えたそうです。その子に合った教材のアドバイスも積極的にされていたとのこと。また、交流活動を通じて教職員や児童が障害のある子を理解する取り組みは、校内支援体制において非常に重要であり、子どもたちが社会に出る時にも大きな意味を持つだろうとおっしゃっていました。現在の通常学級における支援体制については、担任が一人で抱え込まず、校内委員会を定期的開催して、学校全体で連携していけるようにしているとのこと。その子が何を望んでいるのかを感じ取る担任の優しい目とクラスメートのお互いの理解、そして教員間の協力が大切だと感じました。

研修Bでは、船橋市立船橋中学校の通級指導教室担当教諭の齋藤浩司さんからお話をいただきました。中学校での通級指導教室は県内に2つだけです。船橋中学校では特別支援教育を広義に捉えて、不登校や集団不適合、日本語指導等の特別なニーズのある生徒への支援を総称して考えている、ということでした。そして、学校内の相談室と通級指導教室が連携して学習支援や自立のための活動を行っており、たくさんの写真を交えて説明して下さいました。生徒が自分の状態に合わせて居場所を選択できるようにいくつもの「場」を作っているのが印象的でした。そして、これからは、特定の学校に通級指導教室があるという形ではなく「1校1名1教室」を用意する「スリーワンプロジェクト」が出来たら良いとのこと。校内のどこかに一人の担当者がいて、特別なニーズのある生徒に目を配り、適宜支援をしていくという柔軟な対応が求められるのだと思います。それは、小中高の全てに共通して言えることではないでしょうか。困り感で固まっている子を解きほぐすには、様々な角度からの支援を考え、その子と関係者が対話をしながら支援を進めることがポイントなのだと感じました。

### アンケートより（抜粋）

【研修A】通常学級の現場でできることに、即解決の特効薬は少ないかもしれませんが、上野先生の実践が、通常学級の担任誰もが、小中高のどの現場でも行って欲しいことだと痛感しました。／先生のお話の中に、支援計画をつくる気持ちになるのが通常学級の先生は大変ということがありました。私も通常学級が長かったので、先生方にどのように計画が有効であるか伝えるのに悩んでいます。それでも、子どもの困っている状況や生き生きとしている状況を具体的に知らせ、理解・対応できる学校体制づくりを少しずつではあるがして行こうと思いました。

【研修B】今年度から校内での適応教室を運営しています。半年が経ち、少しずつ軌道にのりつつあるところですが、今日のお話から魅力的な教室であるために努めたいと思いました。

## 11月1日フォーラムにおいでください

### －「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」提案事業－

山田晴子

「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」について、7月に水戸でお話をさせていただく機会がありました。「この条例の名前がいいですね、誰でも受け入れやすいと思います」という嬉しい声をいただきました。条例が2006年10月に成立してから2年、広域専門指導員と地域相談員の方々が、さまざまな相談を受けています。その件数は平成19年度295件、活動回数は延べ3264回と、千葉県ホームページに報告が出ていました。障害者差別の多くが、当事者双方の社会的な関係の中で起こってくることで、第三者が間に入って調整をつづけることが有効と、報告の中に書いてありました。

差別にあたる事例を解決する仕組みは、条例の大きな柱です。罰則ではなく話し合いで解決することについて、「障害者差別をなくすための研究会」では「北風よりも太陽の条例」と呼んでいました。お互いの理解を深めることによって、差別をなくしていこうという考え方です。

条例が施行されると共に、県では「条例に係る施策提案型事業」を広く募集しました。条例を広めたり現場に活かしたりするために必要と考える事業を、県民から提案できるというものです。ちばMDエコネットはこの提案型事業として今年「障害のある子の学校生活支援を考えるフォーラム」を提案し、プレゼンテーションを経て事業の1つに選ばれました。第三者が入って話し合うことによって課題を解決するという条例の仕組みが活かされたら、きっと暮らしやすい地域になります。フォーラム開催によって、こうした条例の基本的な考え方を、広めていきたいと思っています。

私たちは昨年度から、条例の基本的な考え方にもとづいて「ノーマライゼーション学校支援事業」を行ってきました。発達につまずきのある子、障害のある子が学校生活で困っているとき、ちばMDエコネットの学校サポーターが相談を受け、必要な場合は学校と保護者をつなぐコーディネートを行います。こうして、第三者が間に入って調整をつづけることで互いの理解を進め、子ども本人の学校生活をよりよいものに改善していこうという事業です。保護者とどう話したらよいか、学校とどう話したらよいか、という両方の立場からの相談を受けてきました。話し合いができて学校と保護者が協力すれば、子どもの状況がよくなっていきます。フォーラムでは、「ノーマライゼーション学校支援事業」の取り組みもご紹介します。

また、『発達につまずきのある子、障害のある子の学校生活を支援するにはどうしたらよいか～通常学級を中心に～』をテーマに、LD発達相談センターかながわ所長の安住ゆう子さんに講演をしていただきます。豊富な実践例を話していただくので、ご家族にも、現場で子どもたちと関わる立場の方々にも、きっと参考にさせていただけるとおもいます。

フォーラムは11月1日(土)午後1時半から、JR津田沼駅近くの千葉工業大学の教室をお借りして開催します。チラシをこの会報に載せてありますので、ごらん下さい。みなさまのおいでをお待ちしております。

## ボランティア・インターン交流会をしました♪

前回の会報186号で、ちばMDエコネットはたくさんのボランティアやインターンの方々に支えられているということをお伝えしました。特に学生や、20代のボランティアやインターンの子は夏休みの間にカフェに来てくれることが多いです。そこで、短期で関わってくれる彼らと、以前からずっとカフェのボランティアをしてくれている方々との交流会を毎年開催しています。今年は、田中さん(千葉大学ボランティア実習)、富村さん(パナソニックインターンシッププログラム)、ミンジさん(United Planet:海外でのボランティアを希望する人の派遣プログラム)、本保さん(今年の春から週2回ボランティアに来てくれます)の4名を囲む形で、9月28日に交流会を行いました。

準備をみんなでするのは楽しいものです。また、このような機会に障害のあるスタッフには、買い物に行くことやプレゼントを選んで渡すという経験を積んでもらうことも大事だと考えています。今回、プレゼントは、女性スタッフに本町通り商店街にある森田呉服店さんで手ぬぐいを買ってきてもらいました。男性スタッフには、彼女達に渡す花束を選んでもらうことにしました。商店街の花屋さんに行き、4つの花束を注文。4色になるようにして、どれを誰にプレゼントするか、誰が渡すのかを相談しました。やはり、男性スタッフから女性にかっこよく花束を渡して欲しいですね☆

交流会では4人のことをより深く知ることができるような〇×クイズを考えて、チーム対抗で答えるようにしました。「田中さんは実は双子である。」とか「ミンジさんは蛇が好きである。」とか。意外な答えにみんなが驚きの声を上げる場面もたくさんありました。

最後にプレゼントと花束贈呈。障害のあるスタッフも一生懸命準備に取り組んで、楽しい交流会をすることが出来ました。

ちばMDエコネットでの経験をきっかけにして、障害のある人のこと、福祉のこと、まちのことに関心を持ってもらい、カフェにまた遊びに来てくれたらいいな、と思っています。

ミンジさんは蛇が好きということに驚き!→



↑花束の色はそれぞれのイメージで選びました

今回はテーブルを3つに分け、4人には交代でテーブルに入ってみんなと話してもらいました



すっかり秋めいてきました。

秋晴れの日、カフェは明るい日差しと爽やかな風が入り、暑くもなく寒くもなく、とても心地よくお仕事が出来ます。そうかと思うと急に曇り空になってしまったり。雨の大嫌いなスタッフの表情も曇ります。私は雨女なので天気は気にせず、傘もあまり持ち歩かないのですが、心優しいスタッフは『くぼさん、今日傘持ってきた?』と聞いてくれます。あまりに私が傘を持ってこないで朝メールで『今日雨降るよ』と教えてくれたりします。とてもありがたいです。

さて、ひなたぼっこの毎月一回のスタッフ研修も回を増すごとに内容も深まってきました。とは言っても、何度も繰り返すことが大切なんだと、スタッフのちょっとした変化を見つけるたびに“新しいことよりも積み重ね”という思いが込み上げます。

研修では、お客様役と接客する側とに分かれて交代でシュミレーションをします。

お水の出し方、注文の確認、伝票の書き方、お会計の注意点など一つ一つを確認してお互いに良かった点や、改善したほうが良いところを出し合います。

普段何気なくこなしている仕事をみんなのしている前ですることにとっても緊張するスタッフがいたり、逆に楽しんでるスタッフがいたり、いろいろです。

自分の事を棚に上げますが、スタッフの仕事ぶりは研修していてもまだまだです。今して欲しいことが後回しになってしまったり、座り込んでしまったり、返事を忘れてしまったり、あがる時間が気になって集中できなかつたり、居眠りしてしまったり……。けれど、働くのが嫌だというスタッフは一人もいません。お客様がたくさんいらっしゃって、忙しいときほどみんな一生懸命働きます。出来ないこともあるけれど、人の気づかないようなところへの心配りや、こだわるところは念入りに磨き上げる丁寧な仕事に感心する事もしばしばです。

ひなたぼっこにいらしてくださるお客様のためにこれからも研修を続けて頑張りますので楽しく働く姿を見に来て下さい。雨の日もお待ちしています……。



注文を取り、お出しする練習



研修の振り返りとこれからの目標づくり

## NPO 法人ちば MD エコネットカフェ「ひなたぼっこ」でのボランティア体験

千葉県立生浜高等学校 教諭 荒木秀彦

私は、今年の四月から千葉県立生浜高等学校で教員として働いています。採用一年目である今年は、『初任者研修』を行います。県内の初任者は、週に一度勤務する学校から離れて県の施設で講義を受け協議を行うなど、様々なプログラムで研修を行っています。その中で、教科の指導だけではなく、多様な生徒にどのように接していくかについても研修を受けます。

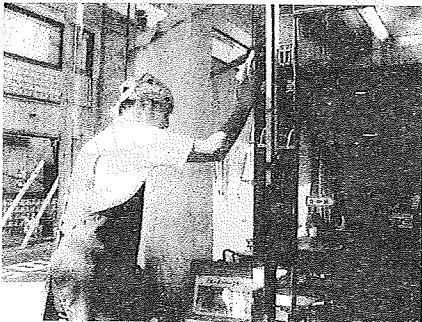
初任者研修の一つに、「社会奉仕体験活動研修」があります。この研修の目的は、社会奉仕体験活動をとおして学校教育活動以外の社会にも視野を広げ、社会人としての意識を高めるとともに、教員としての資質能力の向上を図るものです。この研修については、福祉、更正保護、人権擁護、環境保護、資源保全等の中から、研修先を初任者が任意に選ぶことができます。私は、福祉施設でのボランティアの経験から福祉施設に興味をもち、またNPO活動やノーマライゼーションについても現状を体験させていただきたいと思い、ちば MD エコネットさんのコミュニティカフェ「ひなたぼっこ」を訪ねました。

突然の電話での依頼にもかかわらず、快く受け入れて下さった事務局長には大変感謝しています。また、初めて「ひなたぼっこ」を訪ねた時には、ちば MD エコネットの代表ともご挨拶させて頂きありがとうございました。

ボランティア体験の当日は、不慣れな私にスタッフ同士のコミュニケーションのとり方やお客様へのサービスまで丁寧に教えて下さったスタッフに感謝しています。スタッフの手際の良さと、「ひなたぼっこ」の看板娘的な笑顔に多くのお客様が癒されていることと思います。ホームページで「ひなたぼっこ」の活動内容や写真を載せたことにより、しばらく連絡のなかった同郷の旧友からNPO法人ちばMDエコネットへ寄付を頂いたとのことですが、スタッフの人徳だと思います。

1日の前半部分を一緒に働かせて頂いた方とは、休憩時間にお話したジャニーズ関係の知識や、映画『オールウェイズ三丁目の夕日』の感想など博学ぶりにびっくりしました。1日の後半部分を一緒に働かせて頂いた方は、仕事の記録を付けるファイルに、きれいな文字で氏名が記入されており達筆ぶりに驚きました。また、売り上げの計算を正確にされ、さらに何度か慎重に検算するあたり、とても感心しました。

1日だけでしたが、ノーマライゼーションの中でも「障害のある人もない人も一緒に働く」ということについて貴重な体験をさせて頂きました。今回の貴重な体験を学校に戻っても生かして頑張りたいです。どうもありがとうございました。



← 背の高い荒木さんにはお客さまのいらっしゃる時にガラス拭きをしていただきました！



## NPO 法人ちば MD エコネットカフェ「ひなたぼっこ」でのボランティア体験

千葉県立生浜高等学校 教諭 木村直純

平成20年9月9日、初任者校外研修の一環としてNPO法人ちばMDエコネットが運営する、コミュニティカフェ〈ひなたぼっこ〉にお世話になりました。

当日は10時半の開店作業から調理、清掃、接客、事務作業などを経験させていただきました。久しぶりに接客をした時は学生時代のアルバイトを思い出すこともあり緊張の中に楽しみを見いだしながら働くことが出来ました。

従業員の方たちと触れ合い、話をする中で新しい発見や今までとは違った見方を知ることが出来ました。

新しい発見は、ひなたぼっこをきっかけに、ちばMDエコネットの行う公園清掃、遊休農地の活用、ノーマライゼーション学校支援事業などを知ることが出来たことです。

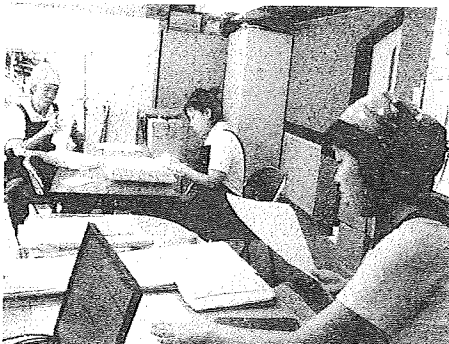
これらの活動の実際を聞き今までの学校側からだけの見方とは違った見方を知ることが出来ました。

特に印象に残ったことは、当日お世話になった従業員の方との会話です。学校教育の課題の一つである、家庭と学校の協力体制の構築について考えさせられました。

実体験を話してくださった中に出てきた「互いの立場を尊重し合いながら、よりよい道を模索していくことが大切」という言葉は、私の中に存在していた「でも」「だって」「どうせ」などのモヤモヤしたものを一掃してくれました。

やはり思いやりなんだ、と改めて強く思うと同時にこれからの教育活動のエネルギーになりました。

今回の研修は1日だけでしたが、とても貴重な時間を過ごすことが出来ました。ひなたぼっこの皆さん本当にありがとうございました。



←木村さんには  
チラシの発送作  
業なども手伝っ  
て頂きました。



\*\*\*\*\*

今回は、イケメン(!)のお二人が研修に来てくれて、スタッフはいつもより張り切っていたようです、私もですが(笑)。高等学校の先生に私たちの活動を知っていただくことは本当に貴重な機会です。今後も初任者研修やその他の研修で、たくさんの先生に来ていただけたらいいなあ、と思っております!

【事務局長：山本佳美】

# 第17回 ピーストレイン公演

日時：2008年11月9日（日）

1回目 13時30分 開演 / 2回目 16時30分 開演

※ 開場は開演の30分前です

場所：コミュニティカフェ〈ひなたぼっこ〉船橋駅（JR線・京成線）徒歩7分

入場料：◆ 一般 1000円 ◆ 学生500円 ◆ 小学生以下無料

★飲み物＋クッキー1枚付！ ★事前予約をお願いいたします。

## 第1部 「戦争が始まった」

日記・詩の朗読 ときこどもの時間 / とき青春の時間

出演：川本かず子・二階堂まり・めぐろあや  
(以上楽塾)

特別参加：中村哮夫 (パラダイス一座&演出家)

舞台監督：田中陽悦

音響：新倉恒章

## 第2部 「行ってきました～コスタリカ」

平和憲法を上手に使っている国で思ったこと

スタッフ：斉藤由利子・峻平

後援：流山児祥・ちばMDエコネット

協力：流山児事務所・HARU

<問い合わせ・予約>

ひなたぼっこ:047-426-8825

製作：非戦ユニット ピーストレイン

<http://blogs.yahoo.co.jp/marinika7th/MY>

[BLOG/yblog.html](http://BLOG/yblog.html)



## 告知板

### ■ちばMDエコネットからのお知らせ

◆馬込児童公園清掃 10月25日(土)、11月8日(土) 10:00~11:00

問い合わせ:ちばMDエコネット 047-426-8825

### ■おしゃべり会のお知らせ～2008年11月～

11月21日(金)10:00~12:00

問い合わせ:〈ひなたぼっこ〉047-426-8825【担当 山田】

### ■〈ひなたぼっこ〉バザー～10月18日(土)、11月15日(土) 11:00~15:00 ※雨天中止

毎回たくさんの寄贈品をいただき、ありがとうございます！

### ■本町通り商店街きらきら秋のゆめひろば～11月15日(土) 11:～16:00

佐倉の農園で収穫したさつま芋を使った、きらゆめ特製「ダポちゃんパン」が登場！

船橋市中央図書館の前で手作り品の販売や手織り体験も行います。ぜひいらして下さい。

### ■佐倉ミックスベリーファーム収穫祭中止のお知らせ

前号でお知らせいたしました10月19日(日)の収穫祭は都合により中止となりました。

来春、ベリーの花が咲く頃企画したいと思いますので、よろしく願いいたします。

<編集後記>☆海外からボランティアに来たミンジさんと、真希さんが楽しそうに話していた(日本語で)。☆「真希さん、英語で話さなきゃ」という私に、「山本さんもだよ」と真希さん。ミンジさんからも「英語でお願いします」と言われ…。う～ん「グッドバイ」と退散してきた。(Y)